

明治天皇は治世中、日本の古来の伝統を保ちながらも、日本の西洋文化や建築を取り入れようとしていました。彼による西洋の技術と伝統の採用は、模範とみなされ、社会の人々が彼の例に倣いました。

彼は西洋料理やワインが大好きでした。この事実を記念して、2006 年にはフランスのブルゴーニュ地方の有名な複数のワイナリーが、明治神宮にワインを 1 樽寄付しています。ブルゴーニュ家からは毎年ワインの奉納がなされます。

これらの樽はフランスと日本の強い文化的つながりの象徴とも考えられています。フランスと日本が今後も長年の有益な交友関係を楽しむことを心から期待し、世界の平和と友好の精神への深い感謝を込めて寄付されているのです。